

北区立なでしこ小学校

校長 関口 泰正

北区立なでしこ小学校の教育は、教育基本法に則り、人間尊重の精神を基調とし、北区教育委員会の教育目標、及び北区教育ビジョン2024が示す方針を踏まえて実施する。

また、児童が基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付け、自他を大切にするとともに、すすんで心身の健康の保持増進に努めようとする態度を育む。

北区立なでしこ小学校 教育目標 「たしかに ゆたかに げんきに」

1 目指す児童像



「たしかに」

基礎的・基本的な知識を身に付け、自らの生活に生かせる児童

「ゆたかに」

思いやりの心と感謝の気持ちをもつことができる児童

「げんきに」

心身ともに健康で、努力する児童

2 目指す学校像

「進んであいさつ、笑顔であいさつ、互いにあいさつができる学校」

教員が熱意をもって迅速・丁寧・組織的に教育活動に取り組み、児童の基礎学力を定着させ、保護者や地域から信頼される学校をつくる。

◎児童の基礎学力を定着させ、自他を大切にすることをはぐくむ学校

◎教師が熱意と責任感をもち、指導力の向上を目指す学校

◎保護者や地域から信頼される学校

3 中期的目標と方策

目 標 今後のさらなる児童数増と新校舎の完成を踏まえ、教員の指導力と学校の組織的な対応力をさらに高め、児童の基礎学力を定着させ、保護者・地域からの信頼を一層強固なものにする。

方 策

- ①誰一人取り残さず、児童に基礎学力を確実に身に付けさせる。
 - ・年間の授業時間数を確保し、丁寧な学習指導を行う。
 - ・基本的な学習規律を定着させる指導に、全校で取り組む。
 - ・きたコンの活用により、個別最適な学びと協働的な学びを充実させる。
- ②教員の指導力・対応力を向上させる。
 - ・校内研究やサブファミリーの研究に取り組み、指導力を向上させる。
 - ・「迅速で丁寧、組織的な対応」に努め、学校としての対応力を高める。
 - ・教員の熱意や特性を校務分掌組織に生かし、活性化させる。
- ③保護者・地域からの学校への信頼を高める。
 - ・言語環境を整え、自他を大切に、安心する学校生活をつくる。
 - ・校務の効率化によって時間を生み出し、教育活動の充実を生かす。
 - ・安定した学校運営に努め、保護者・地域からの信頼を高める。

4 今年度の取組目標と方策 ◎…重点

目標1 誰一人取り残さず、児童に基礎学力を確実に身に付けさせる。

◎①児童に基礎学力を確実に身に付けさせる。

- ・校内研究で国語科を切り口として、思考力や判断力、表現力等を伸ばす指導法を研究する。
- ・きたコンを活用して、個別最適な学びと協働的な学びに適切に取り組ませる。
- ・学校保健の研究成果を活用し、健康の保持増進に主体的に取り組もうとする態度を育てる。

②児童同士、児童と教師、教師と保護者等の多様で豊かな人間関係を育む。

- ・毎年の学級編成替えを通して、児童の豊かで多様な人間関係を育む。
- ・挨拶と適切な言葉遣いの指導により、児童の自他を大切にしようとする心を育む。
- ・教員が協力して、児童の多面的な理解に努め、よさを伸ばす指導を推進する。

③児童に学校の基本的な共通のきまりを守らせる。

- ・どの授業、どの指導場面でも、共通の約束に基づいて、学習活動に集中させる。
- ・基本的なきまりの定着に組織的に取り組み、学力向上の成果を自信につなげる。

目標2 教員の指導力・対応力を向上させる。

① 研修・研究の機会を指導力の向上に生かす。

- ・区や都、サブファミリー、校内における研究・研修への積極的な参加を奨励する。

◎②「迅速で丁寧、組織的な対応」を徹底する。

- ・担当者が一人で問題を抱えずに、常に学年や分掌、係等の対応を基本とする。
- ・問題発生時には、主任等への報・連・相を徹底し、見過ごしや見逃しを防止する。
- ・いじめや不登校、暴力行為、器物損壊、虐待等の情報は全教職員で早期に共有する。

② 教員の熱意や責任感を生かした校務分掌組織を編成し、OJTを活性化する。

- ・若手教員、ミドルリーダーの育成を図り、積極的に分掌の主任やまとめ役に抜てきする。
- ・校務分掌やクラブ活動の指導では、教員の特性を生かした配置を行う。
- ・授業観察とOJTを重ねて、互いに授業を見合う時間を確保し、指導力を高め合う。

目標3 保護者・地域からの学校への信頼を高める。

◎①各学級・学年等学校全体の安定した運営に努め、保護者・地域からの信頼を高める。

- ・言語環境の適正化を図り、温かな人間関係の中で、楽しく安心できる学校生活をつくる。
- ・保護者・地域とともに、挨拶の定着を進め、連携を一層強める。

②校務の効率化による時間的な余裕の中で、保護者等への丁寧で確実な対応を行う。

- ・校務の効率化と執務時間の短縮を学校全体で推進する。
- ・きたコンを活用した連絡方法を工夫し、効率性と利便性を向上させる。

③ 外部との多彩な連携を通じて、自国文化への誇りとグローバルな視野をもたせる。

- ・渋沢翁と郷土のつながり等をはじめ、地域に関する学習に興味・関心をもたせる。
- ・地域の伝承に関する学習を通じて、郷土の文化への興味・関心を高める。
- ・専門家等を招いた体験的な学習活動を通して、視野を広げる。